

2019年度 日本大学国際関係学部

下期 市民公開講座

期 日：2019年10月2日(水)～10月30日(水)

時 間：18時15分～19時45分

会 場：日本大学国際関係学部 山田顕義ホール（国際関係学部 三島駅北口校舎）

統一テーマ 「世界の国々から —暮らしに息づく文化—

パン、ぶどう、チーズはキスの味
Pan, uvas y queso saben a beso

—スペインを象る食文化—

第1回

10月2日(水)

●日本大学国際関係学部 教授 角田 哲 康

第2回

イギリスの歴史・人々・生活・文化

10月9日(水)

●日本大学国際関係学部 准教授 杉本 宏 昭

第3回

インドネシア・バリ島の伝統文化と観光文化

10月16日(水)

●日本大学国際関係学部 助教 伊藤 雅 俊

第4回

La vie, c'est la culture : 生活は文化
—フランスの日常を支えるキリスト教の^{エスプリ}精神

10月23日(水)

●日本大学国際関係学部 准教授 橋本 由紀子

第5回

「おそロシア」!?の人々の心は温かい!!

10月30日(水)

●日本大学国際関係学部 教授 安元 隆 子

主催：日本大学国際関係学部
日本大学短期大学部(三島校舎)

三島市・三島市教育委員会
後援：裾野市教育委員会、清水町教育委員会
長泉町教育委員会、函南町教育委員会
しずおか県民カレッジ連携講座

2019年度 日本大学国際関係学部
下期 市民公開講座申込要項

- 1 申込資格：どなたでも参加できます。
- 2 会場：定員 400名
日本大学国際関係学部山田顕義ホール
国際関係学部三島駅北口校舎
JR三島駅北口前
- 3 申込方法：別紙の「申込書」に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。
あて先 〒411-8555 三島市文教町2丁目31番145号
日本大学国際関係学部 研究事務課 市民公開講座係
FAX 055-980-0879
※「申込書」にご記載の個人情報は適切な方法で管理します。本講座に限定使用し、第三者には開示・提供いたしません。
- 4 問い合わせ先：日本大学国際関係学部 研究事務課
TEL 055-980-0808
- 5 申込期日：各開講日の2日前まで（出席者名簿を作成するため）
- 6 受講料：無料
- 7 注意事項：(1) 講師の病気、その他やむを得ない事情により、講座を延期または中止することがあります。
(2) 受講許可の通知はいたしませんので、当日、直接会場にお越しください。
(3) 万一の場合（休講など）の連絡をいたしますので、「申込書」には住所・電話番号を必ずご記入願います。
(4) 本校では車・バイクの乗り入れはできません。徒歩または電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。



会場 日本大学国際関係学部三島駅北口校舎

2019年度 下期市民公開講座のご案内

統一テーマ：「世界の国々から一暮らしに息づく文化」

観光や仕事で世界の国々を訪れる機会が増えるとともに、インターネットの普及やSNS発信により世界の隅々まで知ることができる時代となりました。このような中、固有の歴史と伝統を有する様々な国や文化の異なる立場、意見に耳を傾け、共生することの重要性はますます大きくなっています。それゆえ、異文化理解の第一歩として、これまで見過ごされた視点や考え方に触れ、既存の先入観や価値観の違いに気づくことが求められています。

この度の市民公開講座では、皆様ご存知のスペイン、イギリス、フランス、ロシアにイスラム文化圏のインドネシアを加えた5つの国と文化を中心に、人々の暮らしに息づいた身近なテーマについて紹介します。観光地としても人気が高いこれらの国々を新たに発見する旅に、参加しませんか。

ご家族、ご友人をお誘いあわせのうえ、お出かけください。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

第1回 10月2日(水)

パン、ぶどう、チーズはキスの味
Pan, uvas y queso saben a beso
—スペインを象る食文化—

角 田 哲 康

文化の十字路スペイン—古の時代から様々な文化がスペインの地に色とりどりの花を咲かせてきました。それは思想、絵画、建築、文学などの世界にとどまらず、スペインの食にも豊かな実りをもたらし、美食の国として世界の人たちを魅了しています。「食」が「食文化」として暮らしの中に根付いていった背景をスペイン独自の生活時間帯、そして宗教文化葛藤の歴史から紐解いていきます。

第2回 10月9日(水)

イギリスの歴史・人々・生活・文化

杉 本 宏 昭

イギリスと聞いて皆さんがすぐ思い浮かべるものは何でしょうか？アフタヌーンティー、イングリッシュガーデン、霧の都ロンドン、紳士・淑女の国、湖水地方、最近の話題としてEU離脱？ではその他は？地球の反対側にあるせいか、メディアがなかなか取り上げてくれないせいか、我々は意外にこの国のことを知りません。この講演では、イギリスの歴史を中心として人々の生活や文化の諸相を概観し、イギリスという国またその文化について更なる理解を深めるきっかけを作ります。

第3回 10月16日(水) インドネシア・バリ島の伝統文化と観光文化

伊藤 雅 俊

世界有数の観光地として発展し続けているインドネシアのバリ島は、「神々の島」や「最後の楽園」として知られ、日本人にも人気の渡航先の一つです。

本講演では、バリ島が1920年代から観光地化されていく過程でどのように観光文化が生成されたのか、また観光がバリの人々や社会文化にどのような影響をもたらしたのか等、バリ島における観光、観光文化と伝統文化の関係についてお話いたします。

第4回 10月23日(水) La vie, c'est la culture : 生活は文化

— フランスの日常を支えるキリスト教の^{エスプリ}精神

橋本 由紀子

フランスがヨーロッパの文化を牽引してきた、そう考えるフランス人の生活には、キリスト教のモラル（精神）の基盤があります。そこに見えるのは自由や友愛の精神、公共についての理念、成熟を旨とする彼らの生き方そのものです。著しく衰退しているとされるキリスト教を再考しつつ、フランス独自の歴史と伝統、また現在の人々の暮らしを、講演者が暮らしたノルマンディーの古都ルーアンを基点に紹介します。

第5回 10月30日(水) 「おそロシア」! ?の人々の心は温かい!!

安元 隆 子

日本人の多くにとってロシアは「近くて遠い国」。それは日ソ不可侵条約を破っての侵攻やシベリア抑留、未だに解決をみない北方領土問題などが影を落としているからでしょう。しかし、強面のロシアのイメージとは違い、一人一人のロシア人は慈愛に満ち、やさしく、日本文化に尊敬の念を持った親日家が多いです。ロシアは日本にとっての隣国です。彼らの暮らしぶりから隣人・ロシアの真の姿を知ってください。「おそロシア」のイメージが一変しますよ!